

令和4年度 会長杯争奪バドミントン選手権大会実施におけるガイドライン

1 大会開催への配慮及び準備に関する留意事項

(1) 大会関係者について

- ・大会参加者は、選手、指導者、競技役員とする。
- ・大会参加者はチーム毎に、様式1の「健康状態確認シート」の提出を義務とする。
- ・様式2は、チームで記録しておき主催者からの求めによって提出する。
- ・競技中以外はマスクを着用する。

(2) 会場内使用する物品について

- ・アルコール消毒を行ってから会場に入り、また競技の前後にも行う。
- ・タオル、飲み物を入れる袋を持参してもらい、物品入れは使用しない。

(3) 式典等

- ・開会式は、十分な間隔をとり、競技上の注意などにとどめ、短時間で行う。
- ・閉会式は、表彰式のみとする。

(4) 会場内に関する確認及び準備

- ・遮光性を考慮しつつ、換気のためにドアを開放することがある。
- ・下駄箱の利用を禁止する。
- ・選手に関しては、割り当てられた場所で観戦することとし、座席の移動は行わない。

(5) 競技会場

- ・コーチングシートは1席とし、エンドを入れ替える時は椅子の消毒を行う。
- ・コートのもップ掛けは毎試合後行う。

(6) 競技関係者及び競技中の確認事項

- ・審判はマスクやフェイスガードを着用する。
- ・選手同士や審判との握手は行わない。
- ・トスは間隔をあけて行う
- ・コールは必要最小限で行う。
- ・シャトルの交換は主審の許可を得て選手が自分で行う。
- ・競技中の発声は最小限にとどめる。

(7) ごみの処理

- ・自分で出したゴミは持ち帰り自宅で処分する。

(8) 観客について

- ・保護者および家族の入場を認める。

2 大会参加者に関する留意事項

- (1) 健康状態確認シート（当日の朝、自宅で検温し記入）を提出する。
※チーム毎で様式1を大会本部に提出し、様式2をチームで保管する。
- (2) 棄権時は来場せず、チーム代表者へ連絡すること。
※チームが棄権をする場合は、代表者が大会本部に連絡すること。
- (3) 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- (4) 競技中のマスクの使用は任意とする。競技中以外はマスクなどを着用する。
- (5) 座席は、指定された場所に着席し、間隔を取りながら使用する。
- (6) 声をあげての応援は行わない。
- (7) ウォーミングアップは間隔をあけて行う。
- (8) タオル、飲み物はバッグ内にて管理し、フロアに直置きしない。
※主催者側で物品入れの為のかごは用意しない。
- (9) ラケット・タオル等の用具の貸し借りはしない。
- (10) 床の汗拭きは、モップを使用する。
- (11) 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- (12) 競技中の発声は最小限にとどめる。
- (13) プレイヤー同士やコーチとのハイタッチ等の接触を行わない。
- (14) コーチングは一定の距離を取り、必要最小限に短時間で行う。
- (15) 自分の試合が終了した場合は運営本部に確認し、必要がなければ速やかに帰宅する。
- (16) 水分補給など体調管理に努め、常時、熱中症に注意する

3 来場者（観客）に関する留意事項

- (1) 様式3「来場者健康状態確認シート」を提出すること。
- (2) 自身が身の回りの使用物および座席の消毒を行う。
- (3) 常時マスクを着用する。
- (4) 下駄箱の利用を禁止する。
- (5) ゴミは持ち帰り自宅で処分する。
- (6) 競技者席エリアとの観客席エリアを分ける。座席を移動しての観戦や応援は行わない。
- (7) 声をあげての応援は行わない。